



# 国税庁が提供する各種インストーラをダウンロードするために必要なルート証明書の確認手順

## 1. ルート証明書とは

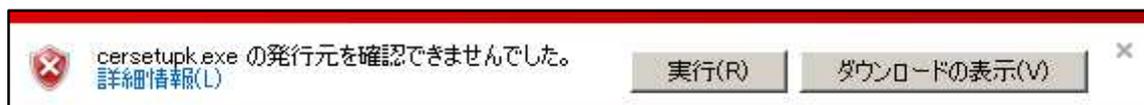
ルート証明書とは、証明書の発行元（認証局）の正当性を証明する証明書のことです。この証明書の発行元（認証局）を信頼の基点と呼びます。国税庁が提供する各種インストーラのコード署名においては、以下の認証局を信頼の基点としています。

- Security Communication RootCA3（セコムパスポート for WebSR3.0）

また、コード署名時点から、改ざん等が行われていないことを保証するため、コード署名と以下の認証局から発行されたタイムスタンプ（副署名）を付与しております。

- GlobalSign Root CA - R3（グローバルサイン）
- GlobalSign Root CA - R6（グローバルサイン）

セコムパスポート for WebSR3.0 及びグローバルサインのルート証明書がパソコンに組み込まれていない場合は、各種インストーラをダウンロードした際、以下のメッセージが表示される場合があります、正常に実行できないことがあります。



上記メッセージが表示される場合は、次の手順に従いルート証明書の事前確認を行ってください。

## 2. ルート証明書の事前確認手順

- 1 以下の手順により、「インターネットオプション」を表示します。

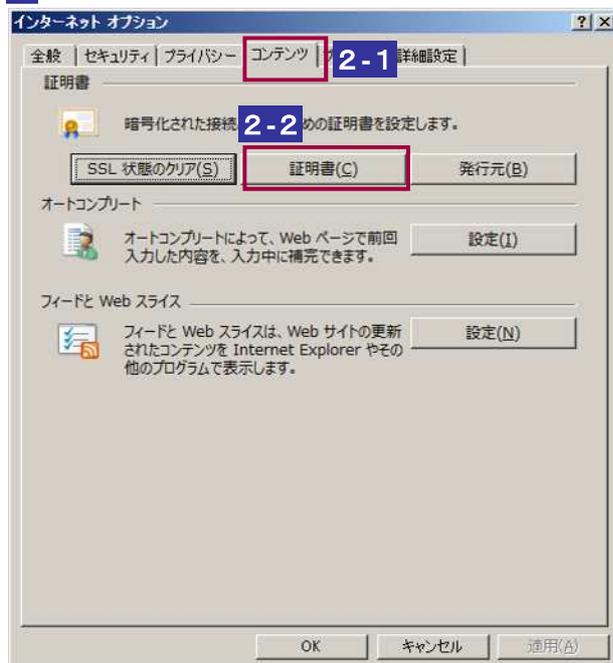
<Windows 10 をご利用の場合>

Windows の [スタート] メニューから [Windows システムツール]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット]-[インターネットオプション] を表示します。

<Windows 11 をご利用の場合>

Windows の [スタート] メニューから [すべてのアプリ]-[Windows ツール]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット]-[インターネットオプション] を表示します。

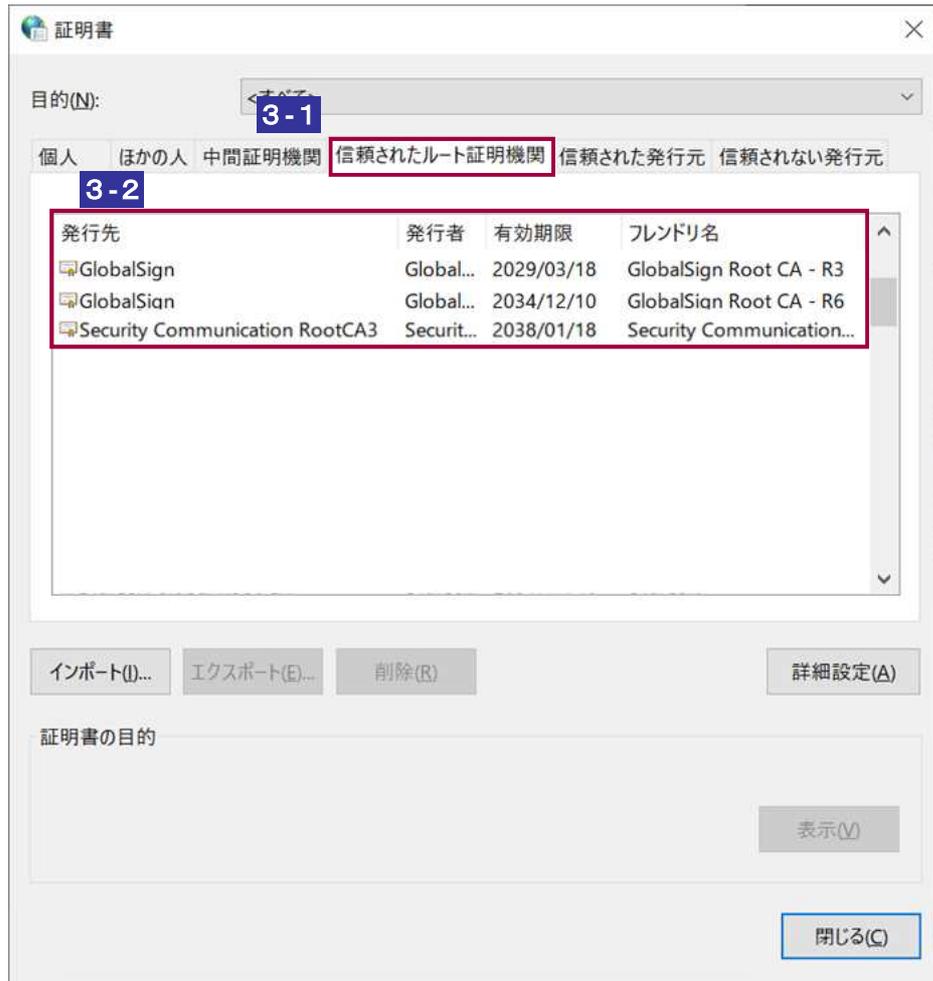
- 2 「コンテンツ」タブを選択し、証明書をクリックします。



- 3 「証明書」画面が表示されますので「信頼されたルート証明機関」タブを選択します。

「信頼されたルート証明機関」から、発行先が以下である証明書があることを確認します。

- Security Communication RootCA3 (セコムパスポート for WebSR3.0)
- GlobalSign Root CA - R3 (グローバルサイン)
- GlobalSign Root CA - R6 (グローバルサイン)



### 3. ルート証明書のインストール手順

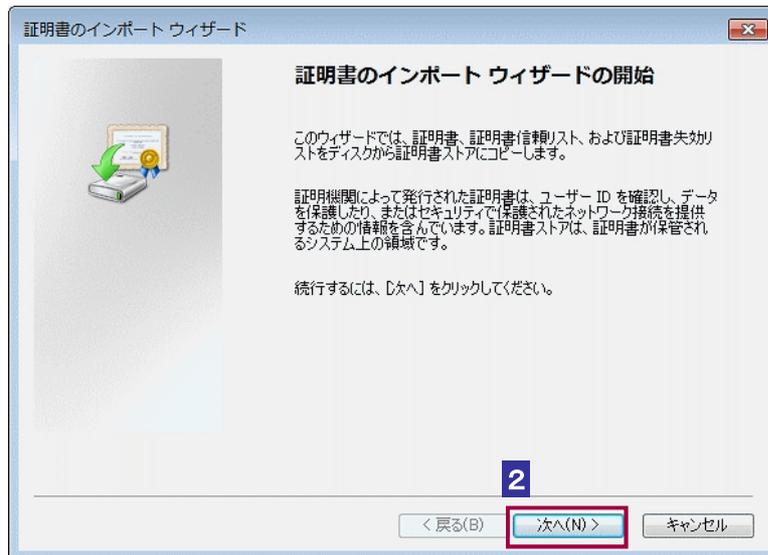
ルート証明書の事前確認手順に従い確認した結果、上述の証明書が組み込まれていなかった場合には、以下の手順に従い、証明書をパソコンへインストールしてください。

- 1 ダウンロードした証明書 (SCROOTCA3PEM.der) を起動し、**証明書のインストール** をクリックします。

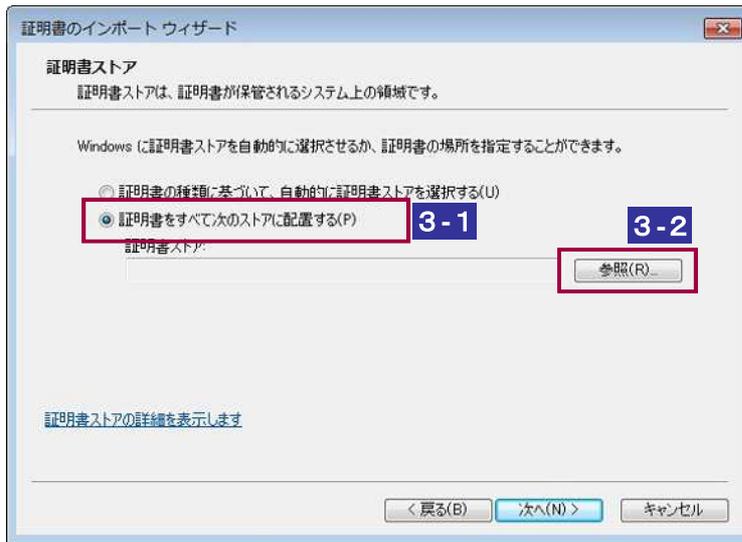


証明書のインポート ウィザードが開始されます。

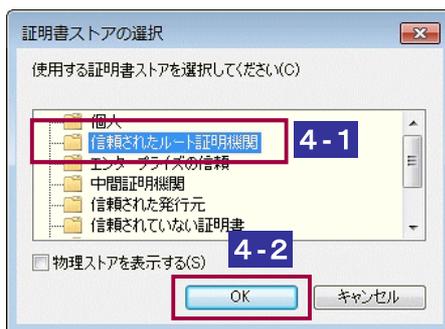
- 2 **次へ >** をクリックします。



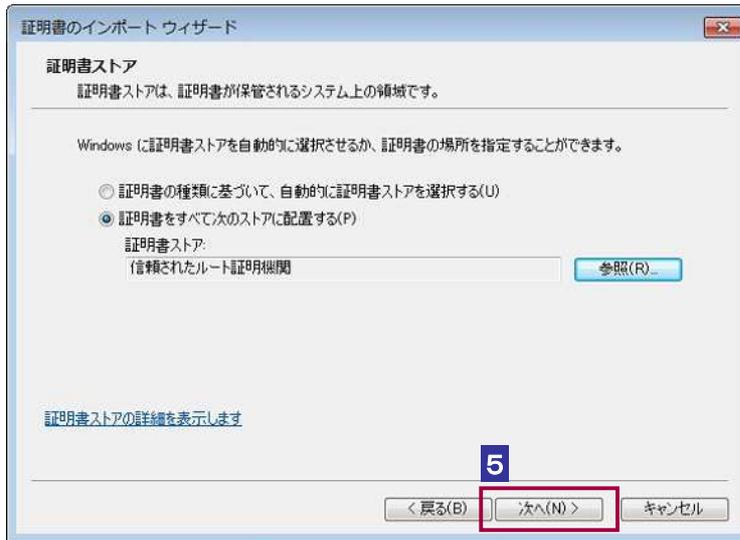
3 「証明書すべて次のストアに配置する」を選択後、「参照」をクリックします。



4 「信頼されたルート証明機関」を選択後、「OK」をクリックします。



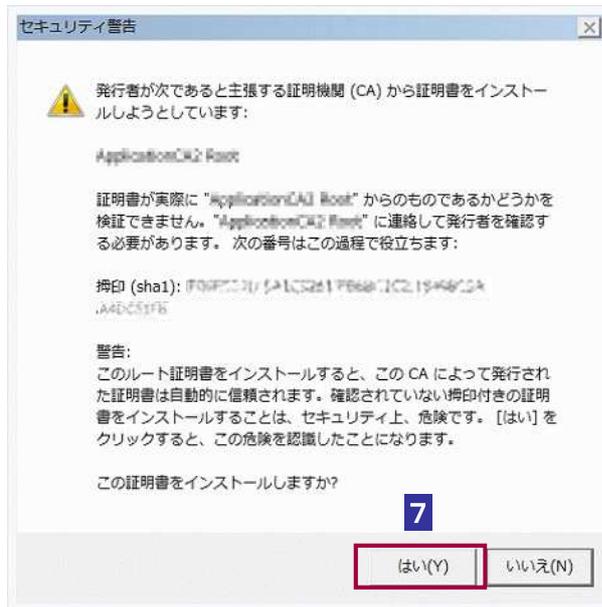
5 次へ > をクリックします。



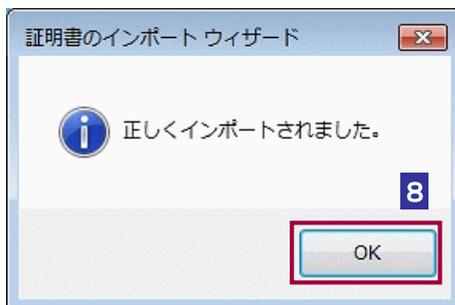
6 完了 をクリックします。



7 はい をクリックします。



8 OK をクリックします。



以上で、セコムパスポート for WebSR3.0 のルート証明書の登録は終了です。各種インストーラを使用するためには、以下の認証局の証明書も必要ですので、同じ手順で登録を行ってください。

- rootcacert\_r3.cer : グローバルサイン
- root-r6.cer : グローバルサイン